

造林公社問題検証委員会会議公開方針

平成20年(2008年)12月18日
造林公社問題検証委員会

第1 趣旨

この方針は、「附属機関等の会議の公開等に関する指針」ならびに「造林公社問題検証委員会設置要綱」第5条第4項および第8条に基づき、造林公社問題検証委員会(以下「委員会」と言う。)の会議の公開について必要な事項を定めるものとする。

第2 会議の公開・非公開の取扱

1. 委員会の会議は、原則として公開するものとする。
2. 次のいずれかの場合にあっては、委員長が委員会に諮って会議を非公開とすることができる。
 - (1) 滋賀県情報公開条例第6条各号に掲げる情報に該当すると認められる事項を審議する場合
 - (2) 公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じるおそれがあると認められる場合

第3 会議の開催の周知

委員会は、公開の会議を開催する場合(議題の一部について公開する場合を含む。)は、事務局においてあらかじめ次の事項を記載した会議開催案内を作成し、会議開催当日の1週間前まで(緊急に会議を開催する必要が生じたときは、前日まで)に県民生活課県民情報室(以下「県民情報室」という。)ならびに南部振興局、南部振興局甲賀県事務所、各地域振興局および高島県事務所の行政情報コーナーでの掲示ならびにインターネット上の県のホームページへの掲載により県民に周知するとともに、報道機関に資料提供を行うものとする。

- ア 開催日時
- イ 開催場所
- ウ 議題
- エ 傍聴者の定員
- オ 傍聴の手続
- カ 議事録等の公表の時期および方法
- キ 問い合わせ先

第4 公開の方法等

委員会の会議の公開方法は、会議の傍聴および会議結果の公表の方法により行うものとする。

1. 会議の傍聴

- (1) 会議の傍聴については、傍聴希望者(報道関係者を除く。)の内から委員長が傍聴を許可する。なお、報道関係者には、公開する会議の取材を認めるものとする。
また、会議の全部を非公開とする場合にあっては、議事に入るまでの間の報道関係者の取材は認めるものとする。
- (2) 傍聴者の定員は、10名とする。ただし、会場の都合等やむを得ない理由がある場合には、10名未満の数とすることができる。
- (3) 前2項の規定にかかわらず、委員長が特に認める者は、会議を傍聴することができる。
- (4) 会議の一部を非公開とする場合、委員長は当該非公開議題の議事に先立ち、傍聴者ならびに報道関係者へ会場からの退席を指示するものとする。
- (5) 傍聴者は、抽選により決定する。ただし、会議の開会時刻の20分前までに傍聴を希望した者が定員に満たない場合は、会議の開会時刻まで定員内で先着順により決定する。
- (6) 委員長は、公開の会議の秩序を維持するため、必要な定めをすることができる。

2. 会議結果の公表

- (1) 公開した会議の結果については事務局において、次の事項を記載した議事録(非公開の議題については会議要録)を作成するものとする。
 - ア 開催日時
 - イ 開催場所
 - ウ 議題
 - エ 議事の経過
 - オ その他必要な事項
- (2) 議事録または会議要録は、会議に出席した委員の確認を得て作成するものとする。
- (3) 議事録または会議要録は、原則として1か月以内に会議資料とともに県民情報室に送付して閲覧に供するものとし、併せて必要に応じ報道機関への資料提供、県のホームページへの掲載による情報提供に努めるものとする。

ただし、個人名等公開することが不相当と認められる事項については公開しないこととすることができる。

第5 その他

1. 委員は、職務上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。
2. 本方針に定めのない事項は、委員長が委員会の意見を聞いて必要の都度定めるものとする。